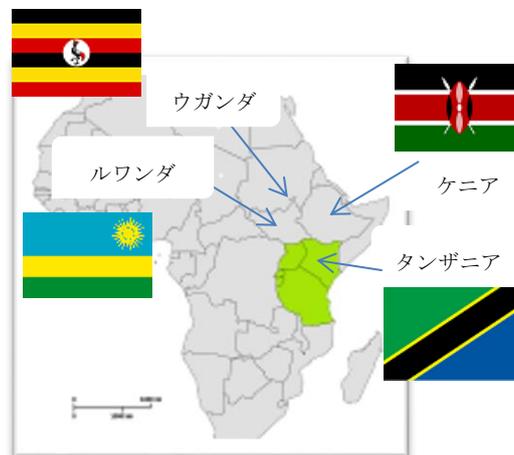


平成 29 年度自転車機械工業振興事業に関する補助事業
「アフリカでの日本製品普及に資する資格制度導入調査」報告

1. 調査実施者、期間、訪問先等

調査実施者 : 平山守、米山博猛
 期間 : 平成 29.11.13-12.9、27 日間
 訪問都市 (国) : ダルエスサラーム及びアリュェシャ(タンザニア)、
 カンパラ (ウガンダ)、キガリ (ルワンダ)、
 ナイロビ (ケニア) <訪問順>
 訪問先 : 政府関係機関、通信事業者、
 通信工事会社、研修機関、
 東アフリカ共同体、JICA



	タンザニア	ウガンダ	ルワンダ	ケニア
人口(2016)	55,572,201	41,487,965	11,917,508	48,461,567
(2030)	82,927,000	61,929,000	15,785,000	65,412,000
面積	885,800km ²	200,520 km ²	24,670 km ²	569,140km ²
平均寿命(2013)	61	50	65	59
GDP/人(2016)	USD879	USD615	USD703	USD1,455

ダルエスサラーム (タンザニア)



カンパラ (ウガンダ)



キガリ (ルワンダ)



ナイロビ (ケニア)



2. 事業の目的（補助事業申請書の記載内容）

スキル向上・維持ならびに均質化のための資格制度導入の検討に資するため、アフリカ諸国における光ファイバーケーブル施工スキル資格制度のニーズを把握し、資格制度導入案及び実行計画を作成し、調査報告書にまとめ、日本の関係機関・企業に提供し、我が国機械工業界を初め、関係政府機関等へ本資格制度の導入を提案すること。また EAC レベルでの資格制度を提案すること。



3. 調査の目的

ケニア、タンザニア、ウガンダ及びルワンダで、主に通信事業者及び通信建設工事業者等を訪問し、①資格制度の対象者数を把握すること、②スキル評価を行うこと、また研修機関を訪問し、③関連研修実施の可能性について意見交換を行うこと。

4. 調査結果（作業中）

4.1 光ケーブルの導入状況と工事等の実施企業

区間	タンザニア	ウガンダ	ルワンダ	ケニア
基幹網	主要都市間を終了し、さらに地方の主要都市との接続を実施中。 工事実施者：内外の工事業者 保守実施者：通信事業者、国内工事業者			
アクセス網 メトロリング	首都は終了し、地方都市で実施中。 工事実施者：内外の工事業者 保守実施者：通信事業者、国内工事業者			
FTTH/B	実施中 工事実施者：通信事業者または国内工事業者 保守実施者：通信事業者、国内工事業者 タンザニアのパイロットプロジェクトは、外国企業が工事実施。			

4.2 資格制度対象者数及びスキル（目的①②）（作業中）

区間	タンザニア	ウガンダ	ルワンダ	ケニア
基幹網+メトロリング	通信事業者： 人 国内工事業者： 人			
FTTH/B				
スキル情報	通信事業者情報では、現在メタルケーブル工事従事者を多数抱えており、これら社員による光ケーブルの知識・スキル修得が課題とのこと。			

4.3 研修機関による光ケーブル施工従事者用研修実施の可能性（目的③）

今回は **FTTH サービスの開通工事従事者研修**を提案し、その可能性を確認。

研修機関	研修実施の可能性
タンザニア Dar es Salaam Institute of Technology (DIT)	可能性あり。検討する。 必要があれば、JTEC と MOU を結び具体化した。
Nelson Mandela African Institution of Science and Technology (NM-AIST)	可能性あり。検討する。
ウガンダ Uganda Institute of Information and Communications Technology (UICT)	可能性あり。検討する。
ケニア The African Advanced Level Telecommunications Institute (AFRALTI)	可能性あり。検討する。必要があれば、JTEC と NDA を結び JTEC にも参加してもらいたい。

5. 今後の作業

調査結果の整理及び報告書作成を来年3月までに実施する。

作業項目	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
国内準備	←-----	-----	----->	
現地調査			↔	
調査結果の整理			←-->	
報告書作成			←----->	

以上